



玉川近代美術館

野間仁根バラの
ミュージアム

大三島美術館

開催期間

2024年
8月～12月

プロジェクションマッピング

ヴァーチャルミュージアム

特別展示「バルーンナマズ」

ワークショップ あかりうお

煌

めぐりの
アートの
饗宴

「バルーンナマズ」記録集

今治市合併20周年記念事業 文化・スポーツ課

Illuminate Festa 2024



むすんだ絆、つながる未来
今治市合併20周年

開催概要

名称

今治市合併 20 周年記念事業 文化・スポーツ祭
アートプロジェクト「光の祭典」
Illuminate Festa 2024

会期

2024 年 8 月 3 日(土)～12 月 22 日(日)

会場

今治市玉川近代美術館

愛媛県今治市玉川町大野甲 86 番地 4

今治市大三島美術館

愛媛県今治市大三島町宮浦 9099 番地 1

野間仁根バラのミュージアム(今治市吉海郷土文化センター)

愛媛県今治市吉海町福田 1290 番地

主催

今治市

企画協力
・制作

倉敷芸術科学大学

協力

一般財団法人今治文化振興会

後援

今治市文化協会、今治市教育委員会

広報用制作物

広報用ポスター

B2 サイズ
(515mm×728mm)
部数：300 部



広報用チラシ

A4 サイズ
(210mm×297mm)
部数：15000 部



展示室内映像インスタレーション

合併 20 周年記念プロジェクト マッピング

■会期：2024年8月3日(土)～9月1日(日)

■場所：玉川近代美術館 / 大三島美術館 / 野間仁根バラのミュージアム

■概要：20周年をイメージして今治市のスポットを地図とともに紹介しながら展開。グラフィックアニメーションでは歴史ある街の賑わいから海を中心に発展し海洋都市としての今治市を表現している。また学生も制作に参加したプロジェクトであった。



▲玉川近代美術館



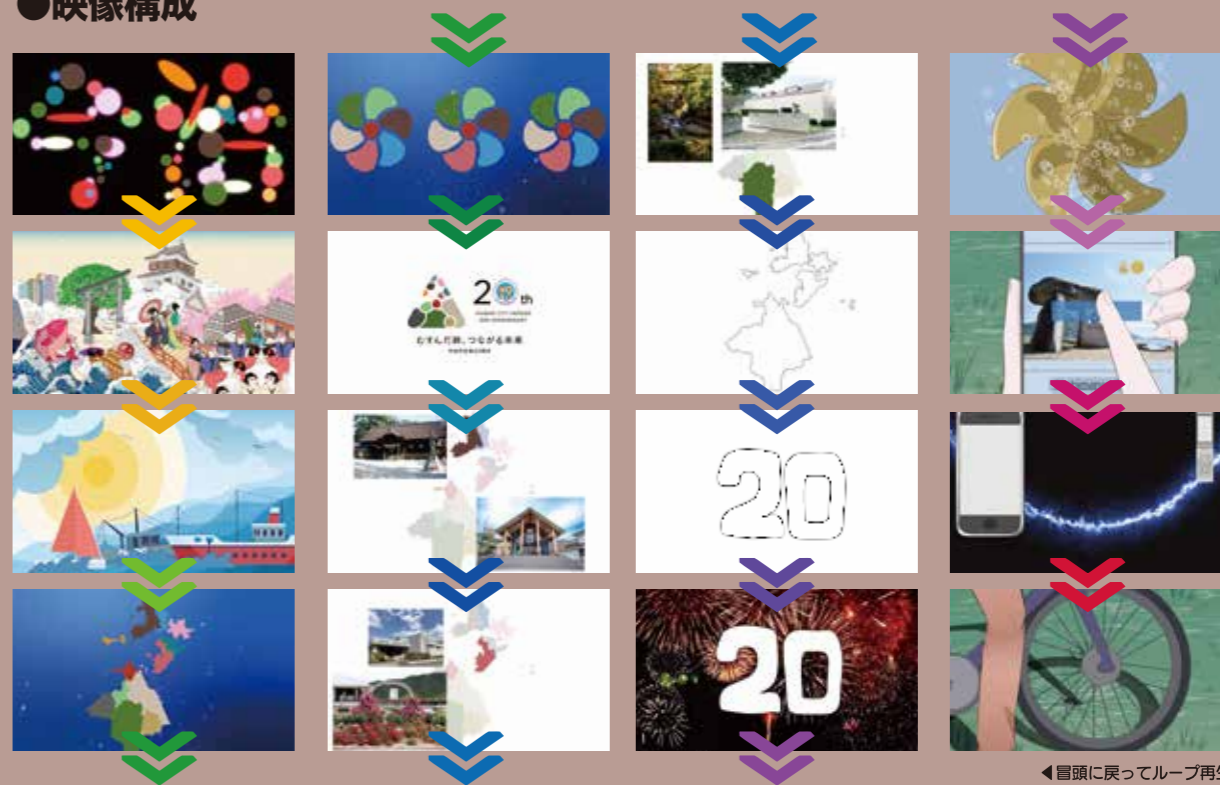
▲大三島美術館

■構成：野間仁根バラのミュージアムではさらにプラスした当館所蔵の野間仁根作品を映像内に取り込み、展示室全体に投影するという没入感の非常に高い展示展開としている。

▼野間仁根バラのミュージアム



●映像構成



◀冒頭に戻ってループ再生

ヴァーチャルミュージアム

- 会期：2024年8月3日(土)～9月1日(日)
- 場所：玉川近代美術館 / 大三島美術館 / 野間仁根バラのミュージアム
- 概要：それぞれの美術館の所蔵作品をデジタル化しスマホで対象作品を読み込むと絵画作品がアニメーションする。



■大三島美術館



■野間仁根バラのミュージアム

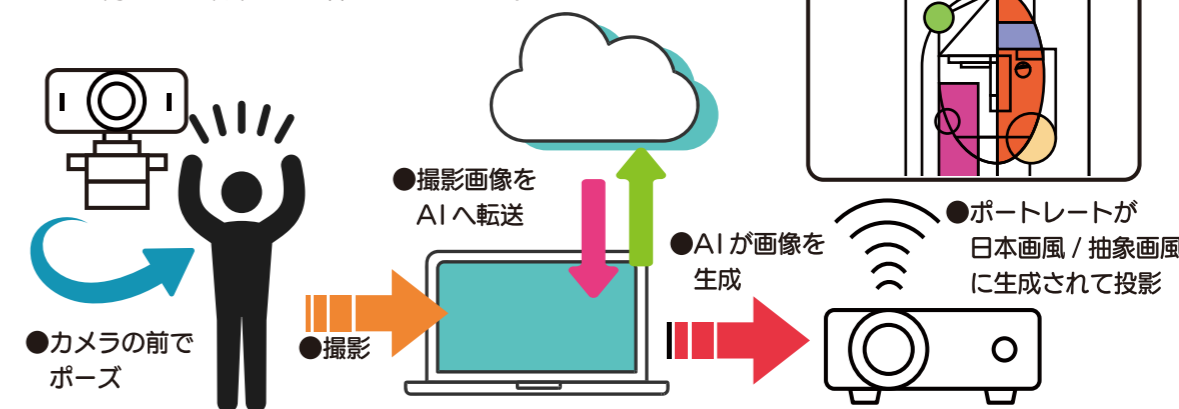


■玉川近代美術館

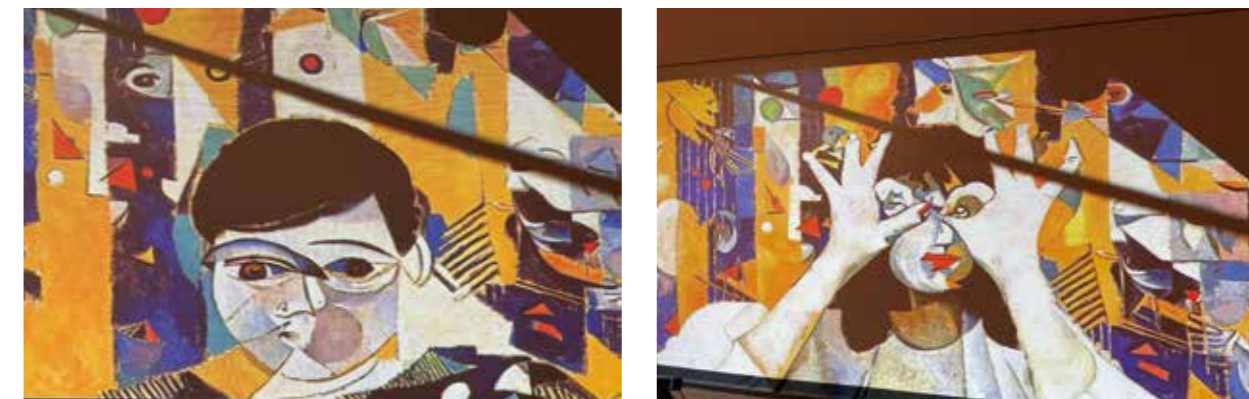


なりきり AI～日本画篇 / 抽象画篇

- 会期：2024年8月3日(土)～9月1日(日)
- 場所：玉川近代美術館 / 大三島美術館
- 概要：最新の AI 技術を使ったインタラクティブなテクノロジーアート作品を展示した。展示する美術館の特色にあわせて玉川近代美術館ではピカソ等抽象的なものを、大三島美術館では日本画的な画像を生成する作品にした。



■玉川近代美術館 ※好評につき 2024/11/4(月)～12/22(月)にバージョンアップして再展示。



▲撮影したひとのポートレートが抽象画風に再生成される。

■大三島美術館



▲撮影したひとのポートレートが日本画風に再生成される。

プロジェクションマッピング

今治市合併 20周年記念 プロジェクションマッピング

- 玉川近代美術館 2024年12月1日(日)
- 野間仁根バラのミュージアム 2024年12月7日(土)
- 大三島美術館 2024年12月8日(日)

■構成：今治市の合併 20周年をイメージして海事都市として発展してきた今治市の歩みをアニメーションで紹介。歴史ある街の賑わいから海を中心に発展してきた今治市を表現するとともに、それぞれの美術館の所在地の特色や美術館の特徴を折り込み、美術館ごとに固有の映像として展開した。

またオープニングには今治市内の小学生たちが考案したキャラクターを100体登場させ、「みんなで作るプロジェクションマッピング」となっている。キャラクターのアニメーションは倉敷芸術科学大学学生が制作参加しており今治市の小学生と倉敷芸術科学大学学生とのコラボレーション作品ともなっている。

プロジェクションマッピングに登場した小学生たちのキャラクター(抜粋)



玉川近代美術館

2024年12月1日(日)
来場者数 361名



▲伝統と和のイメージで展開するプロジェクションマッピングとなっている。



▲小学生たちのキャラクターが登場



▲早い時間から来場者が集まった。



▲美術館所蔵作品のイメージを展開



▲新キャラ「あーとちゃん」「あ〜とん」揃い踏み



▲造船で賑わう「今治」を表現



▲タオルにみたてた枠内に街の多様な姿を展開

野間仁根バラのミュージアム

2024年12月7日(土)
来場者数 301名



▲海事都市「今治」をイメージ



▲こどもたちの作ったキャラクターの100体登場で会場が盛り上がった。



▲大島石をイメージした展開



▲野間仁根の芸術活動を表現



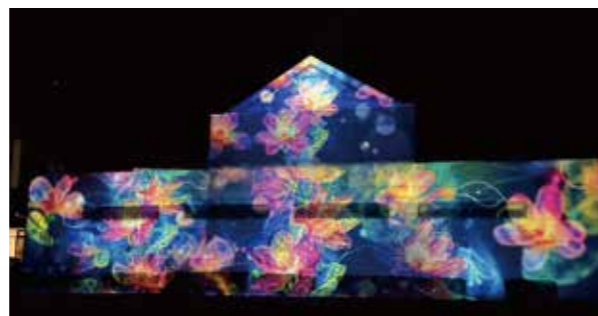
▲村上海賊の繁栄を表現



▲新キャラクター「ローシー」登場



▲今治の赤灯台



▲今治市の花「つつじ」

大三島美術館

2024年12月8日(日)
来場者数 113名



▲新キャラクター「つるひめちゃん」の出陣シーン



▲こどもたちのキャラクターを高い没入感で展開



▲特殊な設営で館外からも楽しめた(ウリ坊登場)



▲収蔵作品も登場



▲美術館と自然との調和を表現



▲今治市の花「つつじ」

大三島美術館

■会期：2024年8月11日(日)～8月18日(日)

■概要：大三島美術館内エントランスで全長9mのバルーンナマズを展示した。期間中は開館時間を20時まで延長し、来場者はあざやかに光り、ゆったりと動くバルーンナマズを楽しんだ。

■来場者数：入館者数：295名(夜間130名)



大三島美術館

■会期：2024年8月11日(日)

■概要：「あかりうお」のワークショップは①13:00～、②14:30～で、参加者は三角の紙ピースから魚形のモデルを組み立て、思い思いの装飾を行い好評だった。

■参加者数：①14名、②14名



大三島美術館・等

- 会期：2024年8月11日(日)～9月21日(土)
- 概要：今治オリジナルバルーンのアイデア募集を行った。美術館に設置した応募箱や、大三島内の学校・児童館等から、様々なアイデアが寄せられた。船・みかん・タコ・タイ、等々、今治につながる要素を抽出し、試作案のアイデア展開を行った。
- 応募数：89枚



玉川近代美術館

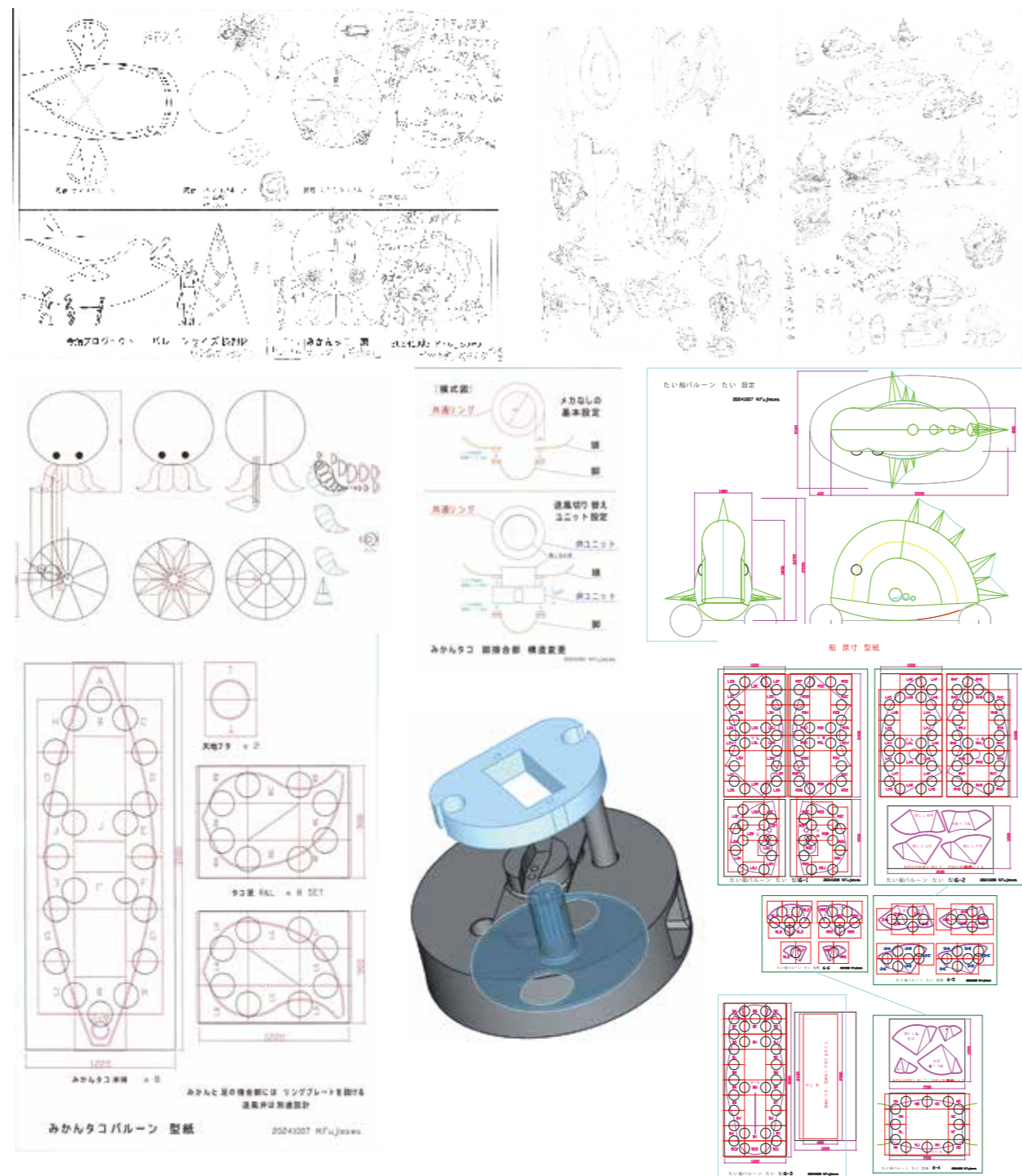
- 会期：2024年8月18日(日)
- 概要：「あかりうお」のワークショップは①11:00～、②13:30～で、参加者は三角の紙ピースから魚形のモデルを組み立て、思い思いの装飾を行い、光らせたりし、好評だった。
- 参加者数：① 17名、②15名



みかんタコ・たい船

■期間：2024年10月3日（木）～

■概要：今治オリジナルバルーンとして、みかんとタコとを組み合わせた「みかんタコ」と、鯛と船とを組み合わせた「たい船」の2種類を選定し、具現化するための検討と設計を行った。



みかんタコ

■期間：2024年10月31日（木）～

■概要：「みかんタコ」の試作を行った。面白味のある、ダイナミックな動きとなるよう、構造や駆動機構等、実験と改良を繰り返した。

■スケール：1/2



今治市内美術館を文化芸術の活動拠点とするアートプロジェクト計画

■はじめに

今治市内の玉川近代美術館、大三島美術館、野間仁根バラのミュージアムなどを活用し、市民参加型のアートプロジェクトを実施する計画である。本計画は、地域の人々にとって美術館を「居場所」とし、アートを通じて社会参加を促進し、地域ブランドを向上させることを目的とする。倉敷芸術科学大学と連携し、持続可能な文化発展を目指す。

■2025年度 短期計画

1. 市民参加型アートプロジェクト

ワークショップや地域の歴史をテーマとしたアート制作を実施する。倉敷芸術科学大学学生やアーティストと市民が協働するイベントを開催する。

市民から募集したインスタレーション用オリジナルキャラクターを展示展開する。

2. 市民向け展示イベント

倉敷芸術科学大学学生やアーティストと市民が協働する作品を展示する「今治市 × 倉敷芸術科学大学アートフェスティバル 2025（仮）」を開催する。

展示に合わせたトークイベントやギャラリーツアーを実施する。

3. アートキャラクターの開発

今治市の各美術館のキャラクターを活用し、イベントやグッズ展開また広報用・美術館ナビ用キャラクターとしてさまざまなメディアで展開する。

4. 最先端テクノロジーを活用した展示

各美術館でプロジェクションマッピングを毎年恒例のイベントとして実施する。

デジタルアートやAR/VR また AI を活用した作品展示を行う。

■中長期計画

1. 文化ネットワークの形成

美術館間の連携を強化し、共同企画展や交流事業を推進する。

2. パブリックアートの展開

今治市内公共空間にアート作品を設置し、観光資源として活用する。

3. 教育プログラムの推進

地域の学校との連携によるアート教育や人材育成プログラムを実施する。

■展望

本計画を通じ、美術館を地域の「居場所」とし、アートによる地域活性化とブランド向上を図る。2025年度の取り組みを基盤に、今治市が国内外で認知される文化都市となることを目指す。

■作品制作スタッフ

●プロジェクションマッピング
ナカガワヒロカズ+山下真未
小川詩音 塚田琴音

●ヴァーチャルミュージアム
ナカガワヒロカズ+山下真未

●なりきり AI～日本画篇 / 抽象画篇
ナカガワヒロカズ+山下真未

●バルーンナマズ
大屋努 藤澤稔

●あかりうお
大屋努 藤澤稔

●オリジナルバルーン試作
大屋努 藤澤稔

●制作協力
市内小・中学生のみなさま
大三島美術館・野間仁根バラのミュージアム・
玉川近代美術館の学芸員・スタッフのみなさま



今治市合併 20 周年記念事業 文化・スポーツ祭
アートプロジェクト「光の祭典」
Illuminate Festa 2024 記録集

発行年月日 令和 7 年（2025 年）2 月 27 日
発行 今治市